



# リノベーションミュージアム冷泉荘 これまでの歩み

## 老朽アパートから“ミュージアム”へ

2002~2006  
冷泉荘

かつて老朽アパートだった冷泉荘は、2006年より3年間、若手クリエイターが運営するチャレンジの場へと変化しました。七夕には冷泉荘2階より巨大流しめんをし、みんなで音楽やワイン、演劇を楽しむ1周年・2周年パーティなど、すばらしい活気であふれた建物となりました。この実験的な取り組みが3年目で終了し、ほとんどの方が部屋を出られたことを機に、建物1棟を使った試み「古いもの市」「第4回アジア美術トリエンナーレ」をおこなったことで、冷泉荘がひとを引きつける驚異的な力を知ることができました。



## リノベーション し続ける冷泉荘 そして耐震補強

2009、

冷泉荘 RENOVATION MUSEUM REIZENSOH

めざせ！  
100歳

築50年を迎えた冷泉荘は、古いもの・古いことを大切にする想いを強め、歴史の深い博多のまちにより一層なじむ建物となるよう次なる実験の場「リノベーションミュージアム冷泉荘」へと生まれ変わりました。大人の文化人・芸術家などクリエイティブ・クラスの方々が集い、多種多様なイベントが開催され、「まちの文化施設」や「知のサロン」として親しまれています。そして、冷泉荘は現在の耐震補強工事を経てさらにサステナブルな建物となります。古い建物だからこそ伝えられる、「ひと・まち・文化」の大切さを、年齢を重ね続ける冷泉荘から発信し続けていきます。

